

総選挙勝利へ！7月8月が勝負です。折り入って 作戦、宣伝、党勢拡大・・・汗を流そう！

議事録削除許さず 子どもの性被害対応めぐり

大府市 6月議会で、久永議員は保育施設での子どもの性被害をめぐる市の対応を質問。質問の最後に被害者の保護者のリアルな思いを代弁しました。

すると質問後、議長に呼ばれ、被害内容が具体的すぎる、私生活にわたる言論だとの意見があるので、該当部分を削除するように、職権による削除も辞さない、と強く要求されました。

久永議員は「被害内容をあいまいにすると、子ども同士がふざけたただけだ、と被害自体がなかったものにされかねず、あえて発言したものでそこは譲れない」ときっぱり。粘り強く協議を重ね、被害時期や年齢・性別などは自主的に削除するが、被害内容や市に相談したが対応してもらえなかったことは、しっかり議事録に掲載することで決着しました。

性被害について、被害者を守るためには事実を明記しない方が良いのでは、との意見もあります。久永議員は県委員会ジェンダー平等委員会とも相談。被害者の願いは、なかったことにして欲しくない！きちんと思いを受けとめてくれることだ。事実を踏まえ具体的に支援することが被害者の人権を守ることになると確認し、議長の圧力を跳ね返しました。

被害者はいまでもPTSDに苦しんでいます。被害者を救う活動は今後続きます。



ありそうでなかった

こんな取り組みいね！

トイレ常備「あたり前」を願って

生理用品を市内小中学校へ
新日本婦人の会 師勝支部が寄付



5月18日、国連NGO 女性団体の「新婦人の会 師勝支部」が生理の貧困解決を願って、市内の小中学校へ生理用品を寄付し、市長・教育長との懇談に渡辺まい子議員も出席しました。

様々な女性団体が集う全国集会がコロナで中止になり、使わなかった参加費用を活用したそうです。

これまで学校では、保健室の養護教諭が子どもたちの様子を知る機会として生理用品を手渡ししています。「社会の理解が進み、トイレ常備が当たり前の環境になることを願います」と、市長・教育長に話しました。



生理の貧困について、積極的に取りあげる議会が増えてきました。生理用品の配布を求める質問が基本ですが、**北名古屋市**では、新婦人のみなさんが生理用品を寄付し、党議員も同席して市長・教育長との懇談を実現、要望を伝えています（写真は渡辺まい子議会だよりより）。

蒲郡市の日恵野市議は、3月議会、6月議会と連続して生理の貧困を取り上げました。6月では、男性も生理について学ぶ機会を！と、学校で女子生徒だけ集めて生理の話をするのでは、男性は生理の大変さが理解できない。ジェンダー教育としての対応が必要だと提案しています。

2021夏の地方議員研修会 ○8月18日(水) 10時～5時

○労働会館東館2階ホール（ズーム参加も可能）

①くらしと平和をめぐる県下の自治体での課題を学ぶ

10時 ○キャラバンから見た医療・介護・福祉の課題県社保協 小松民子事務局長

11時 ○基地問題&自衛隊員募集から意見書採択運動 県平和委員会 矢野創事務局長

②目前の総選挙勝利のための意思統一

13時 ○小選挙区（すやま初美）○比例代表（本村伸子議員）○地方議員の役割（稲生県選対本部長）

③議員の発言リクエスト募集中！支部と共に、議員団として、取り組んだ党勢拡大の経験もぜひ！